

消化器検診 Newsletter

[日本消化器がん検診学会関東甲信越支部機関紙]

No.121

発行所：日本消化器がん検診学会
関東甲信越支部
〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-9-2
東京都立がん検診センター
消化器内科
TEL / 042-321-0711
E-mail:kantou@jsgcs-kanto.jp

目次

支部長あいさつ.....	2
第83回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会	3
会長挨拶（ご案内、開催予定プログラム）	3
ザ・ベスト・イメージング・コンテスト症例募集	4
第84回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会	7
会告	7
日本消化器がん検診学会関東甲信越支部	
超音波研修委員会	8
第27回 初心者のための腹部超音波実技講習会	8
超音波セミナーin新潟	8
第25回 超音波セミナー	9
超音波スクリーニング研修講演会2024東京	9
編集後記	12



支部長あいさつ

支部長のつぶやき2 ～今後の支部の活動に向けてつぶやいてみました～

こころとからだの元氣プラザ 内視鏡検査部

小 田 丈 二

令和4年4月より日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 支部長に就任し、2年が経過しました。当時はCOVID-19感染症の出口が見えない状況でしたが、現在ではほぼ日常を取り戻したように思います。令和5年の地方会も、岡庭先生にご尽力いただき、長野で久しぶりの現地開催となりました。久しぶりに直接顔を拝見でき、とてもうれしく思いました。

私事ではございますが、本年4月より、23年勤務しました都がんから、こころとからだの元氣プラザに移りました。気持ちもあらたにやっていこうと、まだまだ慣れませんが、日々過ごしております。

各研修委員会も研究会を再開し、特に超音波研修委員会は積極的にセミナーやライブデモを開催し、レベルアップ向上を目指して精力的に活動されています。保健衛生研修委員会は、胃X線安全基準作成にご尽力いただいたおかげで第2版を完成させることができ、広報活動含め、今後は地域の保健師さんとの繋がりを広めていく予定です。また、大腸がん検診の精度管理にも積極的に活動して頂いており、今後増加が予想される大腸がんとの向き合い方も考える必要があります。放射線研修委員会ですが、これまでは主に胃X線検診に関する話題でしたが、内視鏡検診に対する理解も必要であり、医師と技師との合同セッションや症例検討会を今後も続けていければと思います。大腸では内視鏡だけでなく、CTC（注腸X線検査…ほとんど見かけなくなりましたが）に関する話題も含め、医師と技師が協力的に話題提供できる場も必要と感じています。内視鏡研修委員会は、対策型胃内視鏡検診をベースに、各地域の医師を中心に構成されています。が、最近では関東甲信越支部としての活動は活発とは言えない現状にあります。大腸内視鏡検査も絡めた議論も行っていくべきであろうと感じております。

今後はさらに多職種連携、チーム医療を目指し、看護師、内視鏡技師、検査技師や事務の方々も巻き込み、色々と活発な意見交換の場が持てれば嬉しいな、などとつぶやいてみました。皆様方の益々のご協力のほど、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

第83回 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 開催のご案内

消化器がん検診の進歩と実践

第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会を2024年9月15日（日曜日）に川崎市コンベンションホールにて開催させていただきます。

胃がん検診（X線・内視鏡）、大腸がん検診、超音波検診を3つの柱として、教育講演などをおり交ぜながら1日参加いただくと消化器がん検診のup-to-dateを実感していただける演題を企画しております。

1. 一般演題
2. 主題演題「胃X線・内視鏡検診の新たな取り組み」 司会：小田丈二先生、二神生爾先生
3. 主題演題「大腸がん検診の精密検査受診率向上を目指した取り組み」
基調講演：濱島ちさと先生、司会：小林望先生、山口和也先生
4. 主題演題「リスク層別化と肝がん検診」 司会：米田正人先生、渡邊綱正先生
5. 主題演題「腹部超音波検診判定マニュアルに追加する所見」
司会：松本直樹先生、塩路和彦先生
6. AI内視鏡のミニレクチャーと各社機器のデモ・ハンズオン 司会：前畑忠輝先生
7. X線フォーラム「撮影法ガイドライン改定に向けて今できること」
司会：小田丈二先生、今出克利先生
8. 教育講演「大腸CT」 三宅基隆先生
9. ザ・ベスト・イメージング・コンテスト（超音波）司会：山本美穂先生、中村稔先生
10. 症例セッション（消化管） 司会：岩本淳一先生、依光展和先生
11. クイズセッション（超音波）出題：渡邊幸信先生、斧研洋幸先生、松永光太郎先生
12. スポンサーセミナー

最優秀演題の一般演題の筆頭演者は次回総会にご招待いたします。奮って演題応募をお願い申し上げます<<https://jsgecs-kanto83.jp/>>。

医師研修会および胃がん検診専門技師認定更新の対象学会です。会場は東急・JR線武蔵小杉駅から徒歩5分にあり、東京・横浜からのアクセスも良好です。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

2024年5月吉日

第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会会長
聖マリアンナ医科大学病院
消化器内科教授・内視鏡センター長 安 田 宏

ザ・ベスト・イメージング・コンテスト症例募集 (The Best Imaging Contest)

第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会（大会長：安田宏先生、開催地：川崎コンベンションホール、会期：2024年9月15日）において「第15回ザ・ベスト・イメージング・コンテスト」を開催しますので、超音波症例画像を募集します。

選出形式は昨年同様、地方会1週間前から応募画像を地方会ホームページ上に公開し、事前投票を開始し、当日投票の結果と合わせてベスト画像を決定します。

記録された超音波写真には病態を正しく的確に伝えたいという検査担当者の思いが込められています。日常業務で撮影された思いのこもった自慢のベストショットに応募してください。応募していただいた超音波画像を、応募者・所属施設を伏せて地方会ホームページ上および地方会当日会場で閲覧し、投票でベストイメージングを選出します。

応募資格は医師・技師を問いません。また応募者のプレゼンテーションはありませんので、地方会に参加できない方でも応募していただいて結構です。

特に、健診施設で発見し撮影された汎用機での症例もお待ちしています。装置の調整が的確で疾患の特徴がうまくとらえられた画像ならば稀症例でなくても構いません。

82回地方会は久しぶりの現地会場開催でしたので、40症例と多数の応募をいただき盛況に開催することができました。今回も多くの方に応募いただき昨年以上に地方会を盛りあげたいと思います。多数のご応募をお待ちしております。

【超音波画像】

- ・ Bモード画像1枚（カラードプラ・パワードプラ可）、ただし2分割の使用は可能とします。動画は使用しないでください。
- ・ 施設名、患者氏名は必ず削除し、フォーカス、ゲイン、ダイナミックレンジ等の装置条件は削除しないでください。
- ・ 超音波画像に文字、記号等は書き込まないでください。
- ・ 画像の加工および合成は行わないでください。

【領域】

上腹部（肝臓、胆道、膵臓、脾臓、腎臓、消化管、腹部大動脈、その他）

【応募方法】

E-mailにて件名を『ベストイメージング（応募者名）』とし、本文に氏名・連絡先住所を明記のうえ、下記要領に従いPowerPointにて作成したスライドファイルを添付して送信してください。

〈スライド1枚目〉 氏名（術者）、所属施設名、超音波機種名、使用プローブの周波数、患者（検診者）の年齢・性別、診断名、コメント（術者の一言）：所見ではなく、強調したい点、工夫した点など100文字以内で記載ください。

〈スライド2枚目〉 超音波画像（動画の応募はできません）

(スライド作成例)

2023年【最優秀賞】

スライド1

術 者：渡邊 幸信

所 属：日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野

装 置：GE Healthcare LOGIQ E10

周波数：9.0MHz

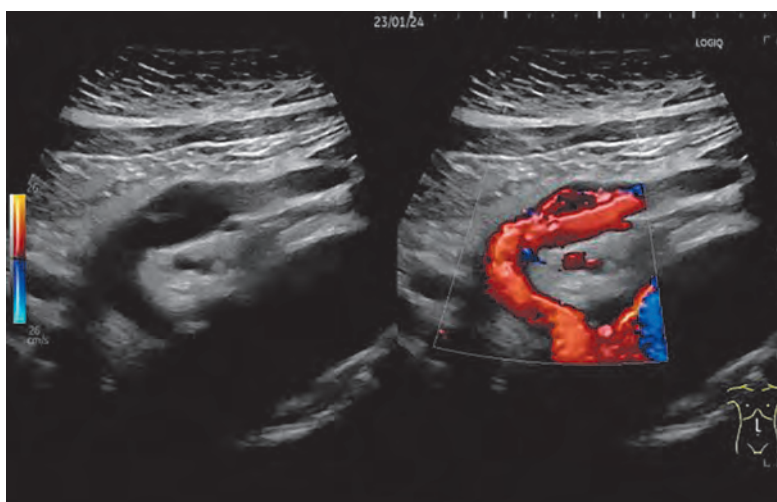
患 者：50歳代 男性

診断名：上腸間膜動脈乖離

コメント（術者の一言）

上腸間膜動脈の全体像を描出しつつ、上腸間膜動脈内の Flap、偽腔と本腔の血流シグナルの分離が綺麗に描出できました。

スライド2



【応募先】（送信先）

担当：中村 稔（井上胃腸内科クリニック）

E-mail：us.bestimaging@gmail.com

【締め切り】

令和6年8月31日（必着）

※応募は一人1点のみとさせていただきます。



第83回

日本消化器がん検診学会 関東甲信越地方会

2024年9月15日(日)

消化器がん検診の進歩と実践

演題募集 2024年4月3日(水)正午～5月22日(水)正午

会場

川崎市コンベンションホール

神奈川県川崎市中原区小杉町2-276-1

パークシティ武蔵小杉 ザ ガーデン タワーズイースト2階

▶ JR南武線・横須賀線・湘南新宿ライン「武蔵小杉」駅 北口から徒歩約4分

学会長

安田 宏

聖マリアンナ医科大学病院
消化器内科 教授



第83回事務局

聖マリアンナ医科大学病院
消化器内科医局 内

運営事務局

株式会社プランニングウィル

〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-5 石渡ビル6F

TEL.03-6801-8084

✉ jsgcs-83kanto@pw-co.jp



川崎大師



第84回 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 地方会のご案内

会 長：岩本 淳一

(東京医科大学茨城医療センター)

会 期：2025年8月31日(日)

会 場：茨城県メディカルセンター・茨城県医師会館

茨城県水戸市笠原町489

前処置から画像診断支援まで

人々のすこやかな毎日を願い、より適確でより安心な診断ができる信頼ある製品づくりを。

薬価基準収載

処方箋医薬品 注意・医師等の処方箋により使用すること

【硫酸バリウム製剤】

■ 大腸CT用経口造影剤

コロンフォード 内用懸濁液25%

■ 上部消化管X線造影剤

バリテスター A240散

硫酸バリウム散99.5%「FSK」

【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

■ X線診断二重造影用発泡剤

バリエース 発泡顆粒

■ 胃内有泡性粘液除去剤

ジメチコン内用液2%「FSK」

(ジメチコン内用液)

■ 消化管X線造影剤

バリオゲン HD

バリオゲン デラックス

■ 注腸用X線造影剤

エネマスター 注腸散

■ 緩下剤

ピコスルファートナトリウム錠2.5mg「FSK」

(ピコスルファートナトリウム錠)

取扱商品

■ 大腸・CT用検査食 **FG-two**☆

味とボリュームにこだわった、簡単調理の検査食。

■ 清涼飲料水 **PROJECT F.**

難消化性デキストリン(食物繊維として)入り。

■ 医療用潤滑剤 **FG Jelly**

消臭成分と抗菌成分をダブル配合。
刺激性の少ない透明タイプの水溶性潤滑ゼリー。

■ CT検査補助具 **コロンマット**

マットの上でコロンと回転し、体位変換が可能。
撮影時の体位維持や、体位変換の負担を軽減。

遠隔画像診断支援サービス

G.I.Lab株式会社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-1
KIMURA BUILDING 7F TEL : 03-5283-0981

検診に特化。

胃X線を始め、胸部X線、マンモグラフィー、CT・MRI、大腸CTなど、多様な画像をお取り扱いします。

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

伏見製薬株式会社
http://www.fushimi.co.jp

仙台営業所／TEL 022-295-5667
名古屋営業所／TEL 052-732-8555
中四国営業所／TEL 0877-22-7284

東京営業所／TEL 03-5328-7801
大阪営業所／TEL 06-6160-2431
福岡営業所／TEL 092-413-4107

日本消化器がん検診学会関東甲信越支部 超音波研修委員会

第27回 初心者のための腹部超音波検査実技講習会

超音波検査を始めたばかりの方や、これから超音波検査を行いたい方を対象とした講習会です。
少人数グループ制で、実際にプローブを握り実技を習得していただきます。

期 日 2025年2月8日（土曜日）予定

会 場 キヤノンメディカルシステムズ株式会社首都圏支社（中央区佃）会議室 予定

講習内容 テキストに従いグループごとに肝、胆、膵、脾、腎 の解剖や描出の基本手技
およびポイントを、実際にプローブを握り習得していただきます。

募集人数 20名（応募状況を見て追加検討）

主 催 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会

超音波セミナー in 新潟

期 日 2025年3月22日（土曜日）開催予定

会 場 朱鷺メッセ 予定

※このセミナーは、社団法人日本超音波医学会認定「超音波検査士」の資格更新指定の対象になっており、出席5単位が付与されます。



第25回 超音波セミナー

期 日 2025年4月12日（土曜日）午後（予定）

会 場 東医健保会館 大ホール（予定）

（東京都新宿区南元町4番地）

※このセミナーは、社団法人日本超音波医学会認定「超音波検査士」の資格更新指定の対象になっており、出席5単位が付与されます。

主 催 日本消化器がん検診学会関東甲信越支部超音波研修委員会

超音波スクリーニング研修講演会2024東京のご案内

超音波スクリーニング研修講演会2024東京を下記のとおり開催いたします。参加申込みは、会場参加とWeb参加（オンデマンド配信）になります。超音波検査士更新5単位が付与されます。

■会場開催

期 日：令和6年12月21日（土）10時20分～16時15分 ＊開場 受付開始 9時50分

会 場：浜離宮朝日ホール（小ホール）東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞社新館2F

募集定員：250名（先着順 定員になり次第会場参加の申込みは終了とさせていただきます）

参 加 費：4,000円（オンデマンド配信付き）

■Web開催

配信方法：オンデマンド配信で行います。（12/21のライブ配信（生配信）は実施しません）

配信期間：令和7年1月6日（月）～令和7年2月28日（金）

配信動画：テーマ講演4演題／ライブセミナー2演題&共催ライブデモセミナー2演題

参 加 費：4,000円（募集の人数制限はありません）

■参加登録方法（事前登録が必要です。支払はクレジットカード決済または銀行振込です）

■申込期間：令和6年10月1日（火）から令和7年1月31日（金）

■申込方法：超音波スクリーニングネットワーク ホームページでご案内いたします。

プログラム テーマ：USスクリーニング《自信を持って精査にまわそう！》

10：25～11：10	ライブセミナー1『膵頭部領域を見る、観る、診る』 演者：岡庭 信司（飯田市立病院 消化器内科）
11：20～12：05	テーマ講演1『膵臓』 演者：川端 聡（住友病院 臨床検査科 超音波センター）
12：30～13：15 ランチョンセミナー ＊お茶 弁当 提供有	ライブセミナー2 『The Live！腹部超音波検診判定マニュアル推奨記録断面25枚撮影法のポイントと意義』 演者：小川眞広（日本大学医学部内科学系 消化器肝臓内科学分野）
13：30～14：15	テーマ講演2『乳腺』 演者：何森亜由美（香川医療生活協同組合 高松平和病院）
14：25～15：10	テーマ講演3『肝臓』 演者：森 秀明（杏林大学医学部医学教育学教室）
15：25～16：10	テーマ講演4『胆道』 演者：水口 安則（国立病院機構 東京医療センター 臨床検査科）

■共催ライブデモセミナー（オンデマンド配信）

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

■主 催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク

■共 催：日本総合健診医学会／日本消化器がん検診学会

■問合せ先：事務局

E-mail：office@us-screening.org

■超音波スクリーニングネットワークホームページ

URL：https://us-screening.org/



KAIGEN

薬価基準収載

処方箋医薬品 X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

「パウダー製剤」

硫酸バリウム散 99.1%「共成」

バリトップHD

バリトップP

バリブライトLV

バリブライトCL

バリブライトP

バリコンクMX

ネオバルギンEHD

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の
注意等については、電子添文をご参照ください。

※注意 一 医師等の処方箋により使用すること

〔資料請求先〕 **カイゲンファーマ株式会社**

大阪市中央区道修町二丁目5番14号
<https://kaigen-pharma.co.jp>

編集後記

今号はまず、小田支部長に関東甲信越支部の近況をご説明いただきました。

つぎに、第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会について、会長の安田宏先生にご挨拶とご案内いただきました。第82回関東甲信越支部地方会同様の対面開催を予定しています。教育講演、主題、症例検討会、ザ・ベスト・イメージング・コンテストと伝統的な企画が予定されています。ぜひ、多くの皆様に現地参加いただき、オンラインの画面越しでは伝えきれない、熱気・雰囲気を感じていただきたいです。新型コロナウイルスが蔓延している時期は、県境を越えての学会参加が困難な方が多かったのだと思います。学会としては従来の対面式を中心に研修会を行っていく予定です。

第84回日本消化器がん検診学会関東甲信越支部地方会の日程と会場が決まりました。演題準備や、現地参加へのご準備をお願いいたします。

超音波研修委員会の、第27回初心者のための腹部超音波検査実技講習会、超音波セミナー in 新潟、令和7年度第25回セミナーの日程が決まりました。従来通りの現地開催予定とのことです。

超音波スクリーニング研修講演会2024東京のご案内が届いています。会場参加とインターネットオンデマンド視聴が可能なハイブリッド開催です。

コロナ前から集団検診離れが始まっていました。個別検診が行われている市町村においては、集団検診から個別検診へと住民の受診動向が変化してきていました。郡部を中心に、個別検診が導入できない市町村がまだまだあります。そのような地域では集団検診もまだまだがんばらないといけません。引き続き安全安心な検診をこころがけてください。

公益財団法人ちば県民保健予防財団
総合健診センター
山口 和也

■編集委員会■

編集委員長 山口 和也

編集委員 依光 展和 岡田 義和

神宮司広明 山本 美穂

石井 崇雄 渡邊 綾子

